



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ

すぐそばにあるSDGs



VOL.276

もくじ

P1 ジビエぎょうざ P2 ナナソックス P3 片山牧場 P4 洋服のお直し P5 フードドライブ・Re:ぶつく出張店 P6 着物リメイク・堆肥 P7 子育てポケット・ポケットエッセイ P8~12 淡路文化会館・淡路県民局・くにうみ協会からのお知らせ・淡路の文化活動・イベント情報

自然の恵み「ジビエ」をおいしく食べてSDGsに貢献



2022年8月OPEN

島ぎょうざ はるちゃん

猟師のはるちゃんが作るジビエぎょうざ



猪や鹿の命をいただき、感謝して美味しく食べる



猪肉は 高たんぱく
鹿肉は 鉄分豊富

狩りをする はるちゃん



森田 悠香さん



【場所】淡路市郡家76付近 【連絡先】090-6602-4060 【営業日】無人販売所のため、24時間営業・年中無休

はるか
はじける笑顔の森田 悠香さん（はるちゃん）。3児の母でありながら猟師もしています。4年前に移住してきて知った猪による害獣問題の深刻さ。しかし、猪や鹿は里に降りてくると殺されて、すぐに焼却処分されることが多いのです。そこで考えたのが「ジビエぎょうざ」。すぐに焼却処分するのではなく猪や鹿の命をいただき、はるちゃんの手で愛情をこめて包み、食べてもらって笑顔になる命の循環。家庭で親しまれた「ぎょうざ」にすることで、ジビエを食べる第一歩になりやすいと考えました。そして、農家さんたちへの被害が減ることに繋がります。また、調理しやすいため忙しい主婦の味方にも。猪肉は高タンパクで多くの栄養素が豊富に含まれる上、低カロリー低脂肪。鹿肉は牛肉の2倍の鉄分を含み栄養豊富でとてもヘルシー。はるちゃんのぎょうざはお肉の割合が半分以上を占め、とてもジューシー。臭みがなく、普通のぎょうざより肉肉しいため、食べ応えバツグン！淡路島の玉ねぎを使っており、淡路島の藻塩をつけるのが1番おいしい食べ方。

そんな、淡路島が大好きなはるちゃんは、「猪や鹿が罠にかかり、さばかれて肉にされることを生涯で見る人の方が少なく、なじみのない光景。その光景を見ることはなくても知ってほしい。知ることで自分の命を大切にするという考えに繋がればいいな」と語ります。繋がりを大事にするはるちゃんは、今日も山野をかけまわり、ぎょうざを包んでいます。「ぎょうざの神様に、私はなる！」 by はるちゃん (淡路文化会館：谷 茉祐)



バリアフリーソックス

裏・90°回転

裏・0°



谷口 直美さん

谷口 恭朋さん

大正十三年の創業以来
心を込めて丁寧
に作っています。

誰もが快適に過ごせる商品づくりをしています。

靴下求評展にて「SDGs賞」を受賞

ナナソックス



“インクルーシブ-取りこぼさない-”をコンセプトに ひとりひとりのお客様に寄り添いながら商品をつくっています。

介護用シームレスソックス



むくみがあっても
締めつけない靴下



工場内

南あわじ市神代に谷口恭朋さん、直美さん、ご夫婦で営まれている靴下工房ナナソックスさんがあります。直美さんのご実家が4代続く靴下製造工場、別の仕事に就いていた二人ですが、跡を継ぐことになったそうです。

淡路島の3人に1人は65歳以上の高齢者で、靴下の締め付けに悩まれている方が多く、「靴下のゴムを切って履く」という方まで…。せっかく作った靴下がちり切られるのは残念に思い開発されたのが「締め付けない靴下」。靴下の幅を繊細に調節できる編み機を使い、締め付けずズレにくい、履き口部分も段差がないようにこだわって、2020年11月に完成したのがつま先から履き口まで完全に無縫製の靴下「シームレスソックス」。これまで「むくみ」で靴下が履けなかった人に好評で、EC販売を本格化させて、「締め付けない靴下」をキャッチコピーにしていました。商品レビューやメールで感覚過敏の子供さんが縫い目の無い靴下を探していることを知り、ニーズがあるなら子ども用の開発も決めたそうです。肌の弱い子供でも履けるよう、肌触りの良い素材を選び、サイズも作り直しを重ね、ミドル丈、小さいサイズ、ショート丈、足幅の細い子ども向け、ハイソックス、など開発してきました。しかしお二人の理想は、感覚過敏の子も肌の弱い子も普通に靴下を選べるようになることだそうです。自分たちの技術やデザインを確かめるため、日本靴下協会のコンテストに出展し3年連続SDGs賞受賞、今年は日本靴下工業組合連合会理事長賞を頂いたそうです。

私の家族にも足の指を締め付けられるのを嫌う人がいて、見た目は普通のソックスですが履くと五本指が離れるソックスを買ってプレゼントしたところ、指先がとても楽で何より足裏の肌触りが気持ち良いととても喜んでいました。

(応援隊：坂本 厚子、村上 紀代美、川原 雅代)



靴下以外の商品も
作っています。



工場横で販売もやっています。

ナナソックス
南あわじ市神代地頭方1264
TEL 0799-42-7152
FAX 0799-42-7154



あなたの1点と誰かの1点を交換する取り組み
お譲り物々交換“ぐるり”



お譲りベビーカー



牛小屋を改装した卓球場

ユニバーサル卓球



思いやりで地域の輪を広げよう

お譲り衣類

ワークショップ



“片山牧場”でSDGs??? はて?一体何があるの?何をするところ? お話を伺うまでは大きな謎でした。

片山牧場は五色町堺小学校のすぐ近くに 있습니다。片山牧場というのは、管理人の清美さんのご両親が大切にしていた牛小屋のこと。使わなくなった小屋を改装し、2022年3月に卓球を通して地域交流ができる施設として開放しました。親の介護等で色々な方にお世話になった時から、いつか自分も社会貢献ができればという想いが募り、卓球が初めてという方や車いすの方など誰でも参加できる“ユニバーサル卓球”を考案しました。ラケットも実にくニークでお鍋や風呂桶、スリッパや竹などなんでもOK。オープンデーには50人~100人位利用しています。牛小屋を地域のコミュニティーの場に再利用できればとの清美さんの熱い想いが実りました。

また、清美さんは以前から物を大切に使いたいという想いが強く、牛小屋を片づける時もいらなくなった物は必要な方に引き取ってもらうなど、“お譲り物々交換ぐるり”のきっかけを作りました。今では、交換品が施設内にと狭しと並んでいます。あなたの1点と誰かの1点を交換する取り組み“ぐるり”は、不必要になったものが誰かの必要としているものになり、不要な消費を減らし思い出や気持ちのバトンが繋がるといいます。清美さんは、「こんなにコミュニティーが広がっていることに私も驚いている。ここではみんな笑顔だし、子どもたちも物を大切に使うことを学んでいる。何より私自身が喜びや感動を味わっている。喜ばせごっこで更につながれば嬉しい」と話していました。

ご両親から受け継いだ施設と精神。片山牧場では他にも“ワークショップ”や“ごはん屋さかい”“おやつ屋さかい”など幅広い活動が展開され、ここで生まれたコミュニティーやSDGsの輪が大きく広がっています。

(応援隊：瀬戸 由美子)

【場 所】洲本市五色町上堺2025-4 (駐車場有)

【連絡先】インスタグラム、公式LINE

instagram.com/kyon_ktym.bokuzyou

【開催日】休日不定期オープン





喜んでもらえることが
うれしくて..



洋服のお直し屋さん

~糸 ito~



店内はきれいで清潔
お洋服を丁寧に
扱ってくれるので安心

【場 所】洲本市五色町広石北19-27
【連絡先】090-3267-1936
【営業時間】10:00~19:00 (変更あり)
【定休日】火・木・他



濱本 りかさん

町で見かけた小さなチラシは「洋服のお直し料金表」でした。今は30才を超える息子が小学校6年生の時、卒業式を前に神戸の病院に入院していました。その子の卒業式に着ようと病院を抜け出し、神戸の百貨店で買った黒の式服。20年以上が経過し、汚れや虫食いはないもののウエストが苦しくなり、買うしかないかと悩んでいた時でした。ダメ元で品物を持って行った先は緑の木々に囲まれたアトリエ風のおしゃれな小さなお直し屋さん。お直しをしてくれるのは濱本りかさん(41才)。専門的に裁縫を学んだというのではなく勤めていたジーンズショップで裾上げしているうちに「ミシンって楽しい!」と思うようになったそう。洋裁をしていたおばあちゃんやお直しの専門家に一からノウハウを教えてもらい、2021年に自分の店をオープン。ジーンズやスカートの丈詰めやウエストの調整はもちろん、ユニフォームの破れ修理も。ジャケットや学生服の肩幅詰めや身幅の調整も。

そんな「糸」さんにウエストのサイズ調整をお願いした応援隊M。「買うしかない」と持っていた式服のスカートのウエストを最大限広げてもらい再び活用できるようにしてもらいました。濱本さんは、お客さんから持ち込まれた洋服を前に「どう直したらいいか?」を考えて眠れなくなることも多々。それでも、お直し後に試着してもらった時「あ!!♡」と喜んでもらい「ありがとう」の言葉を聞くのがうれしい!との事。SDGs=多量生産・大量消費の時代から持続可能なモノづくりの時代へとシフトしている今、自分にできることは何か?と言う問いにヒントを与えてくれる~糸ito~です。
(応援隊:村上 紀代美、坂本 厚子、川原 雅代)

~ 服のビフォーアフター ~

制服ズボン破れ修理



ファスナー前開きパンツを
ウエストゴムパンツに!



ハイネックを
クルーネックに

丁寧なお直しで
大満足

サイズ直しのおかげで
思い出の式服が
着れるようになりました☆

古い海苔網は
音響よけネットに!

昔からやってた! ? ~SDGs~

米のとぎ汁を
植物に!



雨水をためて
有効利用



家畜の排せつ物を
肥料にして野菜作り!

たまごの殻は
畑にまいて肥料に!



洲本市社会福祉協議会

フードドライブ



「もったいない」をありがとうに

ありがとう!



お問合せ 洲本市社会福祉協議会 電話 0799-26-0022

洲本市社会福祉協議会では「フードドライブ」として、家庭で余っている食べきれない余剰食品を無駄にせず持ち寄り、それを必要としている家庭や福祉団体などに届ける活動を行っています。

担当者の方は「これまでお米・パスタなどの乾麺・缶詰やレトルト食品・海苔やふりかけ・粉ミルクやお菓子・調味料など昨年1年間で約220kgの食品を寄付していただきました。ご家庭でそれらのものがあれば常時受け付けております。やまて会館や市役所生活環境課、マルナカ洲本内膳店にフードドライブBOXを常設しておりますので、よろしく願いいたします」と話されていました。

また恒例の「ふれ愛まつり」は10月12日（日）にやまて会館（洲本市総合福祉会館）で開催されます。会場では様々なイベントが行われます。リサイクル商品などのフリーマーケットや寄付していただいたもののバザーも行いますのでぜひお越しくださいとのことでした。

（応援隊：田處 耆久）

洲本市役所

Re:ぶっく出張店



お問合せ 洲本市役所生活環境課 電話 代表 0799-22-3321 直通 0799-24-7607

洲本市役所本庁舎1階の「洲本の広間」にリユースの本を持ち帰ることのできる『Re:ぶっく出張店』があることをご存知でしょうか？

これは「みつあい館」や「ストックヤード」に持ち込まれた古本の中で、状態のよいものなどをリユースしてその本を必要な人に持って帰ってもらうために令和2年ごろに開設されたものです。中でも特に人気があるのは絵本で、子育て世代の方にとっても喜んでもらっています。ロングセラーから最新の本、貴重な本まで多種多様な本が並んでいます。また、古本回収箱も備えていますので、読み終わった本の回収も行っています。

担当の福田久志さんは「市民の皆様からとても好評をいただいているので今後も続けていきたいし、家を片付ける時など読み終えた古本をリユースして、その本を必要な人たちに届けられたらうれしく思います。洲本市下内膳のストックヤードにも同様の『Re:ぶっく』が設置されています。お一人10冊まで持ち帰ることができるので、ぜひご利用ください」と話されていました。

私も時々利用させていただいていますが、皆さんも利用してはいかがでしょうか。

（応援隊：田處 耆久）



SDGsについて、何か取り組まれていますか？自身で気が付かない内にリフォームしていたり、リメイクしていたりする事があります。リメイク (remake) とは既存のものを元にして、新たな作品や製品として作り直すことの意味があります。

着物のリメイク名人
神田ちづるさん



リメイクした作品を
展示している工房

着物や帯がリメイク術で大変身

帯リメイクバッグ



洲本市安乎町で和物を洋服にリメイクされている手芸の神田ちづるさんを紹介しします。神田さんの自宅隣にある工房にお伺いしました。この工房には神田さんのリメイクした作品の展示が多数あり、裁縫が趣味の人には大変興味深い空間です。取材に伺った時もリメイクしたお洋服をおしゃれに着こなされていました。

神田さんが約2年前にいぎなぎ学園の「手芸サークル」の講師をされていた時にお世話になり、和物(和服)から洋服(洋服)へのリメイクを教わりました。私には月に一度のサークル活動で作品が仕上がるのか心配しながらの取り組みでした。自宅で宿題をこなして、その年度は畳の縁でキャラメルポーチとパッチワークバッグを作成、あとは和装の羽織でペプラムブラウスを作りました。この時に作った畳の縁のパッチワーク風バッグは、私のお気に入りバッグになり、毎日持ち歩いて「これは畳の縁やねん」と自慢しています。また、古い羽織は、友人のおば様のお古を頂きブラウスにリメイクしましたが、私には羽織をほどく技がなく、ほどく作業は実家の90歳の母親に頼みました。新しくブラウスが出来た工程はワクワクして、とても楽しい作業でした。
(応援隊：田村 ひろ子、米田 静子)



淡路景観園芸学校

バイオネスト

伐採した枝を円形に積む。
↓
中に落葉や草などを入れる。
↓
自然の堆肥ができる。

兵庫県立淡路景観園芸学校のキャンパスで、この鳥の巣のようなものを見かけたことはありませんか？これは、剪定枝や伐採木を再利用し、円形に積み上げて作ったバイオネストです。剪定枝や落葉、除草した草などを廃棄することなくバイオネストに入れて堆肥を作り、それを再び園地に還元する循環型の仕組みになっています。この方法は、処理の費用やエネルギーを節約し、リサイクルによる土地の負担を減らすことができます。また、緑を持続的に活用し、SDGsにも貢献します。

円形の周囲を全部積み上げることもできますが、中のものを出し入れしやすくするために前面の一部を開けていました。2023年9月30日のガーデナーテーマコースの授業で制作したものを現在も活用しています。



個人の家庭用にはコンポスター(自家製堆肥製造器)を使い、落葉や雑草を約10cm入れて平らにならします。その上に米ぬかや油かすなどをふりかけ、水をかけ、その上を土で覆います。この作業を繰り返しコンポスターが満タンになったら、腐熟を早めるために中身をよくかき混ぜ、さらに発酵させます。(2004.10.NHK 趣味の園芸より)循環型社会の実現は身近な実践から。景観園芸学校の例を参考に堆肥を作ってみませんか？
(応援隊：岡 まさよ)



子育てポケット



4歳になった兄と、もうすぐ2歳の妹。
 笑いあり、涙あり、喧嘩あり、そして私の
 雷が落ちる日々を過ごしています。そんな
 日常の中でも2人の仲睦まじい姿に癒される
 こともあるので、紹介したいと思います。
 幼稚園のお見送りの時は、教室前でハグを
 してハイタッチでバイバイ。
 まだはっきりとした会話にならなくても、2
 人の世界でこしょこしょ会話して楽しそう
 にしているところ。
 これからの2人の成長も楽しみにしていま
 す。
 ずっとずっと仲よし兄妹でいてね。

そうまえまの母



ポケットエッセイ

今回書くのは
応援隊 濱田 泰美



大阪関西万博に行ってきた。ギリギリまでチケツは購入してなかったのですが、開幕したら行きたくてムズムズ。開幕七日目に娘が取ってくれたチケツで入場。まず大屋根リングの木組みをじっくりみて感心し、大屋根に上がり40分かけて会場をぐるりとまわりました。いろんな国のパビリオンは、個性的でおもしろい。上からの眺めは最高でした。予約を取ってなかったので、万博グルメに専念。ドイツのソーセージとビールで乾杯。象印のお高い炊飯器で炊いたご飯のおにぎりに舌鼓を打ちました。ガンダムやアトムを横目にお土産を買って、もう一度大屋根リングに上がり噴水ショーと夜景を楽しんで帰ってきました。行く前は1回行ったらええわという気持ちでしたが、帰りにはあと数回行って、フランス館も、イタリア館にも…と夢が広がりました。一生に数回しかないチャンス! 「ごちゃごちゃ言わずに行ったらええやん♥」ぜひ!!



美術展示企画

淡路文化会館からのお知らせ

淡路文化会館HP



池の上に佇む美術展示室と県民ギャラリーでは、1年を通して様々な美術展示企画を開催します。2025年美術展示年間カレンダーは淡路文化会館のホームページをご確認ください。

写真はR6年6月「野の花作品展」開催時の様子です



2025年7月・8月スケジュール

◆明兆他パネル展

展示期間:2025/7/1~2025/9/26

展示内容:淡路島万博の一環として明兆文化史・庚午事変・相撲歴史のパネルを展示します。

◆日本画サークル展

展示期間:2025/7/2~2025/7/22 15:00まで

展示内容:様々な流派のグループの作品を展示します。日本画に親しんでもらい、日本画を描き始めるきっかけになってほしいという思いがこもった作品展です。

◆野々花作品展

展示期間:2025/8/3~2025/8/15

展示内容:野々花の写真を展示。多くの人たちに野々花に興味を持って欲しいです。

◆全日本写真連盟淡路支部作品展

展示期間:2025/8/17~2025/8/31

展示内容:支部会員が撮影した風景ポートレートネイチャー写真を全紙サイズパネルで展示します。1年間撮影した写真の中から講師が選んだ作品を展示します。

兵庫県淡路県民局からのお知らせ

「淡路環境美化月間・淡路全島一斉清掃の日」の実施等について

【趣旨】

淡路島では、「環境立島淡路」の実現に向けて、7月と11月を「淡路環境美化月間」と定め、平成2年より7月と11月の年2回を「淡路全島一斉清掃の日」とし、清掃活動や花づくり運動など全島あげての環境美化運動を展開しています。

今年も「7月第1日曜日」及び「11月第2日曜日」を「淡路全島一斉清掃の日」として設定し、この日を中心に、洲本市、南あわじ市、淡路市の町内会や学校、その他の団体・グループの多くの方が参加して清掃活動を実施します。なお、実施にあたっては熱中症予防を考慮し、各市実行員会又は各実施主体が実施月日や実施時間を変更するなど、柔軟に対応することとしています。

【淡路全島一斉清掃の日】

令和7年 7月6日(第1日曜日)※

令和7年11月9日(第2日曜日)

※熱中症予防を考慮し、各市実行員会又は各実施主体が実施月日や実施時間を変更するなど、柔軟に対応することとしています。

【淡路環境美化月間】

令和7年7月1日(火)から7月31日(木)までの1か月間

令和7年11月1日(土)から11月30日(日)までの1か月間

【取組内容】

- (1)「あわじ環境未来島」島民率先行動の推進
- (2)ポイ捨てをなくす美しい島づくり条例等の理念の普及啓発



(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

令和7年度第1回淡路島くにうみ講座

「淡路島の文明開化

～庚午事変の後 洲本・淡路はどうなったのか～」

■講師 浦上雅史氏(淡路島弁財天厳島神社宮司)

■日時 8月25日(月) 14時~15時30分

(開場:13時30分)

■場所 洲本市文化体育館 1階会議室

(洲本市塩屋1-1-17)

(申込フォーム⇒)



■定員 150名(無料)

※要事前申込。締切8月20日(水)

～問い合わせ先～

淡路県民局 県民躍動室 環境課
☎0799-26-2072



申込・問合わせ先:(一財)淡路島くにうみ協会
電話:0799-24-2001 FAX:0799-25-2521
Eメール:awajishima@kuniyumi.or.jp
ホームページ:https://www.kuniyumi.or.jp

インフォメーション



◆南あわじ市滝川記念美術館 玉青館

TEL 656-0314
南あわじ市松帆西路1137-1
TEL 0799-36-2314
TEL 0799-36-5408

夏季特別企画 「国指定重要文化財銅鐸 寄託記念 お披露目展」

南あわじ市にある国指定重要文化財の「慶野中の御堂銅鐸」と「慶野銅鐸」が、令和7年度から当館に寄託されることとなり、皆様にお披露目いたします。また、市内から出土した弥生～古墳時代の青銅器もあわせて展示いたします。是非ご覧ください。



同時開催：埋蔵文化財速報展 「戦争のあしあと～戦後80年～」

令和5年度に発掘された門崎砲台跡や〇〇と呼ばれた飛行場など、戦争が南あわじ市に残したあしあとをご紹介します。

【日時】7月19日(土)～9月7日(日)
9:00～17:00

(入館は16:30まで)

【休館日】月曜休館

(月曜日が祝日の場合は翌平日)

【入館料】大人 500円

高大生 300円

小中生 150円

※小中生は「ココロカード」

「のびのびパスポート」利用可

入館無料



門崎砲台跡

◆洲本市文化体育館

TEL 656-0021 洲本市塩屋1-1-17
TEL 0799-25-3321 FAX 0799-25-3325
休火曜日休館 時9:00～21:00

カ・フラ

フラ発表会

【日時】6日(日)開場13:00 開演13:30

【場所】会議室1A

【入場料等】入場無料

【お問合せ】ピリー・レイ・ブア クミコ

TEL: 0799-24-5777(多田)

真言法話の集い

淡路島内の住職によるお説法

【日時】9日(水) 13:30-16:00

【場所】会議室2C

【入場料等】無料

【お問合せ】淡路自治布教団

TEL: 0799-50-5050(萬勝寺)

第42回 淡路人形浄瑠璃 後継者団体交流発表会

【プログラム】

子どもたちの淡路人形浄瑠璃絵画展表彰式～三味線合同演奏～浄瑠璃演目

【出演団体】

南淡中学校郷土芸能部、三原中学校郷土部、淡路三原高校郷土部、市小学校郷土文化部、淡路人形浄瑠璃青年研究部、淡路人形舞舞組、福井子供会人形浄瑠璃部

(特別出演)

徳島県立那賀高校 徳島県立城北高校

【日時】21日(日)

開場12:00 開演12:30(予定)

【場所】文化ホール『しばえもん座』

【入場料等】入場無料(一般観覧大歓迎!!)

【お問合せ】(公社)淡路人形協会事務局
(淡路人形浄瑠璃史料館内)

TEL: 0799-42-6060

落語体験隊 at SUMOTO

アマチュアの落語家による落語ライブ

【出演】

寿亭 茆町、顔見亭 馬久松、etc...

【日時】27日(日)開場13:30 開演14:00

【場所】会議室1A-1

【入場料等】無料

【お問合せ】担当者:西松

TEL: 078-671-3853

最新情報は『<http://rakugo>

taikentai.blog.jp/』まで

◆淡路人形座公演案内

7月公演案内

～受け継がれる淡路人形
五百年の歴史がここにある～

1(火)～31(木)

10:00～/15:00～

「バックステージツアー」

「人形解説」「戎舞」

1(火)～21(月)

11:10～/13:30～

「ゆるっと人形浄瑠璃」

※太夫・三味線・人形の解説、

「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」含む

24(木)～31(木)

11:10～/13:30～

「うらしまたろう」

※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

【料金】

大人1,800円/中高生1,300円

小学生1,000円/幼児無料

【定時公演】

10:00/11:10/13:30/15:00

【臨時公演】9:00/16:00

※30名様以上の場合、上記の時間帯で臨時公演も可能です。

(尚、15日前までの事前予約必須)

【7月の休館日】

2日(水)/9日(水)/16日(水)/17日(木)

22日(火)/23日(水)/30日(水)



【お問い合わせ】 淡路人形座

TEL 656-0501

兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先
淡路人形浄瑠璃館内

TEL 0799-52-0260

FAX 0799-52-3072

インフォメーション



◆淡路市立しづかホール

桂二葉 独演会

【日時】8月11日(月祝)
13:30開場 14:00開演

【料金】全席指定
○前売(一般)3,500円
○当日(一般)4,000円

【チケット発売場所】

淡路市立しづかホール・淡路市立サンシャインホール・洲本市文化体育館・ローソンチケットほか
※詳しくはしづかホールのホームページをご覧ください。

【問合せ】淡路市立しづかホール

しづか少年少女合唱団

初心者でも大歓迎です。みんなで合唱する楽しさを体験してみませんか。
※初回体験無料/随時募集中!!

【日時】7月12日ほか
土曜日 14:00-15:30

【場所】しづかホール リハーサル室

【対象】小学生

【料金】¥1,000(月2回)

【申し込み・問合せ】

しづかホール

TEL: 0799-62-2001

MAIL: info@shizukahall.com

ホームページ: <http://shizukahall.com/>

◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室

あわじグリーン館

☎ 7656-2306 淡路市夢舞台4
☎ 0799-74-1200 ☎ 0799-74-1201
🕒 10:00~18:00(最終受付17:30)

【料金】一般 750円
70才以上 370円
※生年月日記載の証明書提示必要。
高校生以下 無料

花の楽園～ 花色がかなでる初夏のしらべ

【見どころ】ユリ、あじさい、ハナショウブ、アガパンサス、メディニラ、ジキタリス、ホタルブクロなど(予定)

【開催期間】～7月13日(日)まで
※休館日 7月10日(木)

サマーガーデン～ 植物の驚くべき生存戦略

【見どころ】食虫植物、多肉植物など植物の驚くべき生存戦略を紹介!実際の植物を見ながら驚異的な進化の姿をお楽しみください。(予定)

【開催期間】
7月19日(土)～9月28日(日)まで
※休館日 8月7日(木)

★食虫植物や観葉植物の愛好家に
大人気のあのお店が淡路島に!★



◆サンシャインホール

☎ 7656-2305 淡路市浦148-1
☎ 0799-74-0250/☎ 0799-74-0256

県民芸術劇場 人形劇 「11ぴきのねこ」

人形劇団クラルテが演じるねこたちの愉快な大冒険のお話です。ぜひ見に来てね♪

【日時】7月27日(日)開演 11:00

【料金】親子ペア 500円
大人700円・小学生以下300円

【問合せ等】サンシャインホール



◆淡路島国営明石海峡公園

淡路島 国営明石海峡公園
☎ 7656-2306 淡路市夢舞台8-10
☎ 0799-72-2000 ☎ 0799-72-2100

サマーフェスタ

【日時】7月19日(日)～8月31日(日)
9:30～18:00(イベントより異なる)

【場所】ピジター棟ほか

【内容】世界の昆虫標本の展示やクラフト体験、夏休み宿題おたすけ教室などを開催。詳細は、ホームページをご覧ください。

【参加費】イベントにより異なる
※別途入園料、駐車料金必要

編集・だ・よ・り

今年も半年が過ぎ、1年の折り返し点、いよいよ夏本番!!

SDGsあせらず無理せず出来るものから始めませんか～?

《応援隊 竹代 結》

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,000部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願い致します。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館

☎ 656-1521 淡路市多賀600

☎ 0799-85-1391 ☎ 0799-85-0400

E-mail: info-awabun@farm-group.com

H P : <https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

私たちはポケットあわじを応援します。



淡路文化会館
シニアカレッジ

いざなぎ学園の 講座を単発で受講 できるようになりました！

淡路文化会館
公式WEB



- 事前申込不要・当日受付
- おひとり1回500円(税込)

※講座により受講可否や料金は変動します。

※詳細はホームページまたは電話でお気軽にお問い合わせください。

兵庫県立淡路文化会館



兵庫県立淡路文化会館 淡路市多賀 600 TEL: 0799-85-1391

各イベント情報は変更になる場合がございます。お問い合わせは各施設へお願いします。

淡路島に お住まいの方



大募集!

生活創造しんぶん「ポケットあわじ」で
淡路島の情報発信活動に参加してみませんか?

ボランティア

生活創造しんぶん「ポケットあわじ」製作 淡路生活創造応援隊

淡路島の魅力を紹介する生活創造しんぶん「ポケットあわじ」の企画、取材、原稿作成、編集、配布などを通じて、地域を元気にする活動にご参加いただけます。

●活動内容

地域に密着した情報誌として親しまれている「ポケットあわじ」の制作や発行に関する活動です。

- ・企画（特集やテーマ、取材先の選定）。
- ・取材活動、撮影、確認、校正。
- ・配布活動。

●活動日時・場所

毎月第3または第4木曜日の編集会議を実施。
※原則として午後2～3時間程度、島内各地在住の応援隊スタッフが集まって、楽しく軽やかに情報や意見を交換する場となっています。
※取材や記事作成などは各自で活動となります。
【編集会議場所】兵庫県立淡路文化会館

●募集対象

淡路島内在住で、地域の情報発信にご興味のある方、地域情報誌の制作や編集に、関心のある方。

※地域各所へ配布活動のみのご参加も大歓迎!



掲載記事

「ポケットあわじ」で あなたの日常を 紹介しませんか?



子育てポケット

淡路島で育っていく子供たちの日常や、楽しかったこと、嬉しいこと、ちょっと困ったこと、日々の発見など、写真と一緒に大切なお子様に向けた想いを教えてください。

ポケットエッセイ

あなたの旅の思い出や、忘れられない出来事、人との出会いなど、日常でふと感じたこと考えたこと、ちょっと面白エピソード、いろいろなこと教えてください。



お申込み・お問い合わせ

兵庫県立淡路文化会館

〒656-1521 兵庫県淡路市多賀 600

TEL 0799-85-1391 FAX 0799-85-0400

メール: info-awabun@farm-group.com 担当: 谷